「中小企業の海外展開支援業務と知識体系」改定について

「中小企業の海外展開支援業務と知識体系」（以下「本体系」）は（一社）中小企業診断協会（以下「協会」）が2017年2月に作成し、協会ホームページや個々の中小企業診断士活動等を通じ、多くの方々に活用していただいています。また、それぞれの項目についても、多数の中小企業診断士グループの皆さんが、研究を進めていただいていることなどもあり、本体系が実際のビジネスの場で徐々に浸透しつつあることを実感しています。

そうした中で、本体系の第1版作成後約6年を経過し、その間に新興国の台頭に象徴されるように世界の政治・経済環境は大きく変化し、同時に越境ECなど新形態ビジネスも拡大するなど、中小企業にとっても国際ビジネス環境は変化しつつあります。その一方で、本体系にある国際ビジネス取り組みのための基本的な事項は、大きく変化はしていないといえます。

しかしながら、前述のとおり本体系作成からかなりの期間を経ていることにより、現段階で全体の見直しを行い、新しく加えるべき部分を加え、同時に体系全体をより使いやすいものにするべく、改定作業を行いました。

改定作業の主なポイントは次のとおりです。

1. 基本的に第1階層、第2階層は変更しない。（ただし、第2階層は、一部追加・修正あり）
2. 第3階層以下は、下記の基準で見直しを行った。
	1. 第3階層は、支援業務を行うにあたり「確認すべき事項」「やるべき事」を列挙する
	2. 第4階層は、その内訳を整理、記述する
	3. 第5階層は、補足して記述しておくべき具体的内容を入れる
	4. 第6階層を、さらに必要な分類があれば記述する
	5. 第6階層を最深の階層とする
	6. 右側の時期・事業分類・実施場所の〇印位置の確認をおこなう
3. 第1~4階層の最初の行に、色付けをした。

（第1階層）青色

（第2階層）黄色

（第3階層）緑色

（第4階層）黄色

1. OS09については、中小企業の海外展開の重要な要素として「輸出」があり、第1階層として独立させるべきではとの議論もあった。しかしながら、輸出業務といえども他の第1階層の知識や業務は基礎的な知見として認識しておくべきとの観点から、今回はオリジナルの形態を維持し、「」OS09B　輸出」の内容をより充実させることした。

（参考）使用に当たっての留意点

 「中小企業の海外展開支援業務と知識体系」は、海外展開支援に携わる（携わろうとする）中小企業診断士が、当該業務に必要となる知識体系を明確にすることで、その資質の向上を図り、また、人材のネットワークの形成に資することを目的として作成したものです。

 一方、必要な業務等を体系的に網羅することにより、海外展開のための計画書作成や評価等における資料としても有用なものとなっています。ただし、実務に際しては、個々の国、企業、進出形態等に応じて、臨機に適切な取り扱いが必要となりますので、この点にご留意ください。

なお、本体系の作成ならびに改定に当たっては、下記の中小企業診断士が編集および作成を担当しました。

2017年2月　「中小企業の海外展開支援業務と知識体系」

編集・作成：大喜多富美郎

作成：徳久日出一、永吉和雄、松村正之、山本倫寛

2023年1月　「第1回改訂」

編集責任者・作成：大喜多富美郎、永吉和雄（副）

編集委員・作成：三上彰久、酒向敦、小澤徹

作成：鈴木祥子、山本美紀、清水敬之、川崎透、山本倫寛、内藤秀美

以上